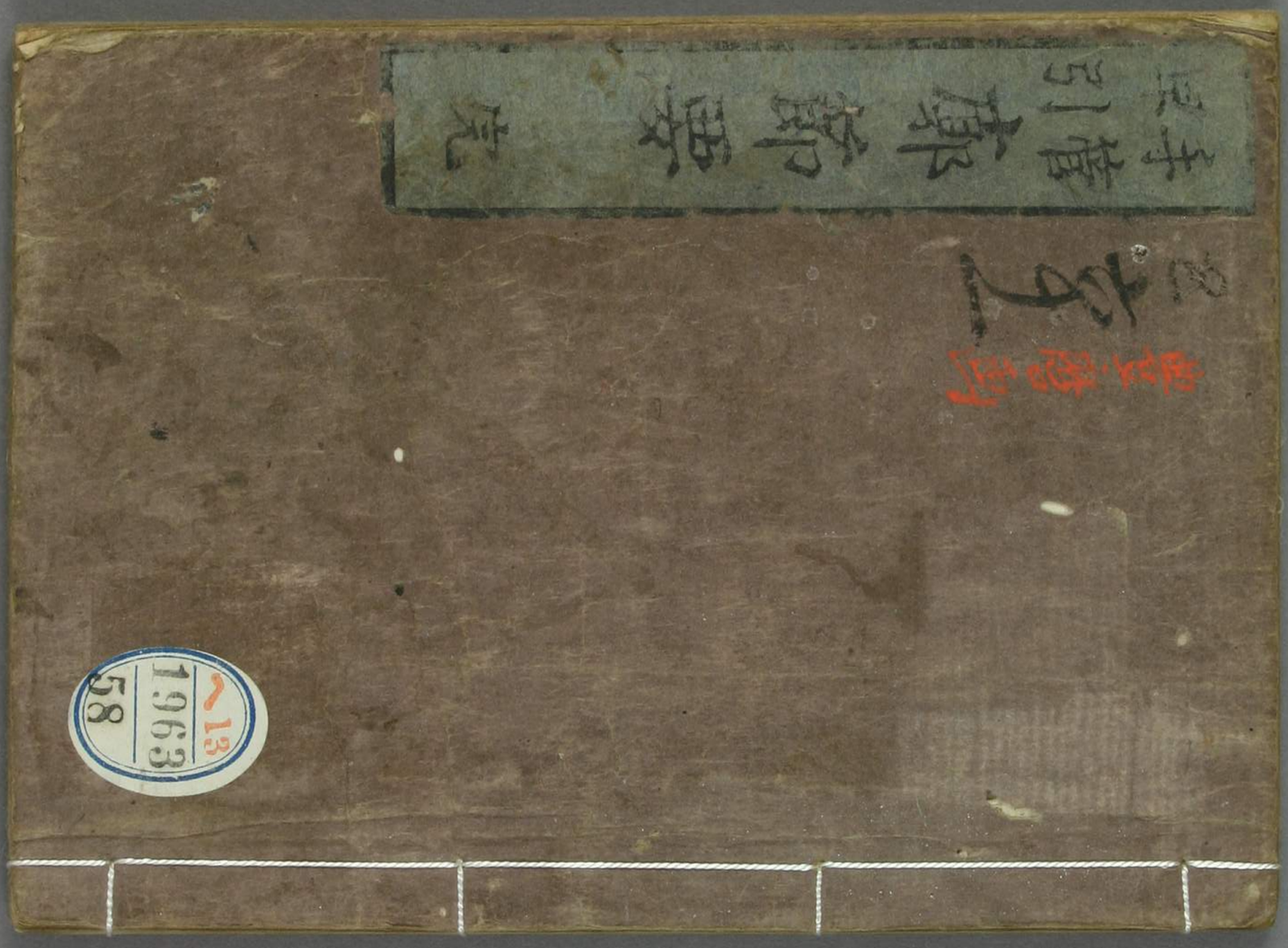
KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



58

リ

二

且ク自序ニ据リ　又云フ豊丸畫春麿序アルモノハ再摺ナリトカ侯後攷

通俗雲笑言ヲ書名トスル

鄭節要亦亭馬笑撰　春笑畫也三馬ノ序アリト

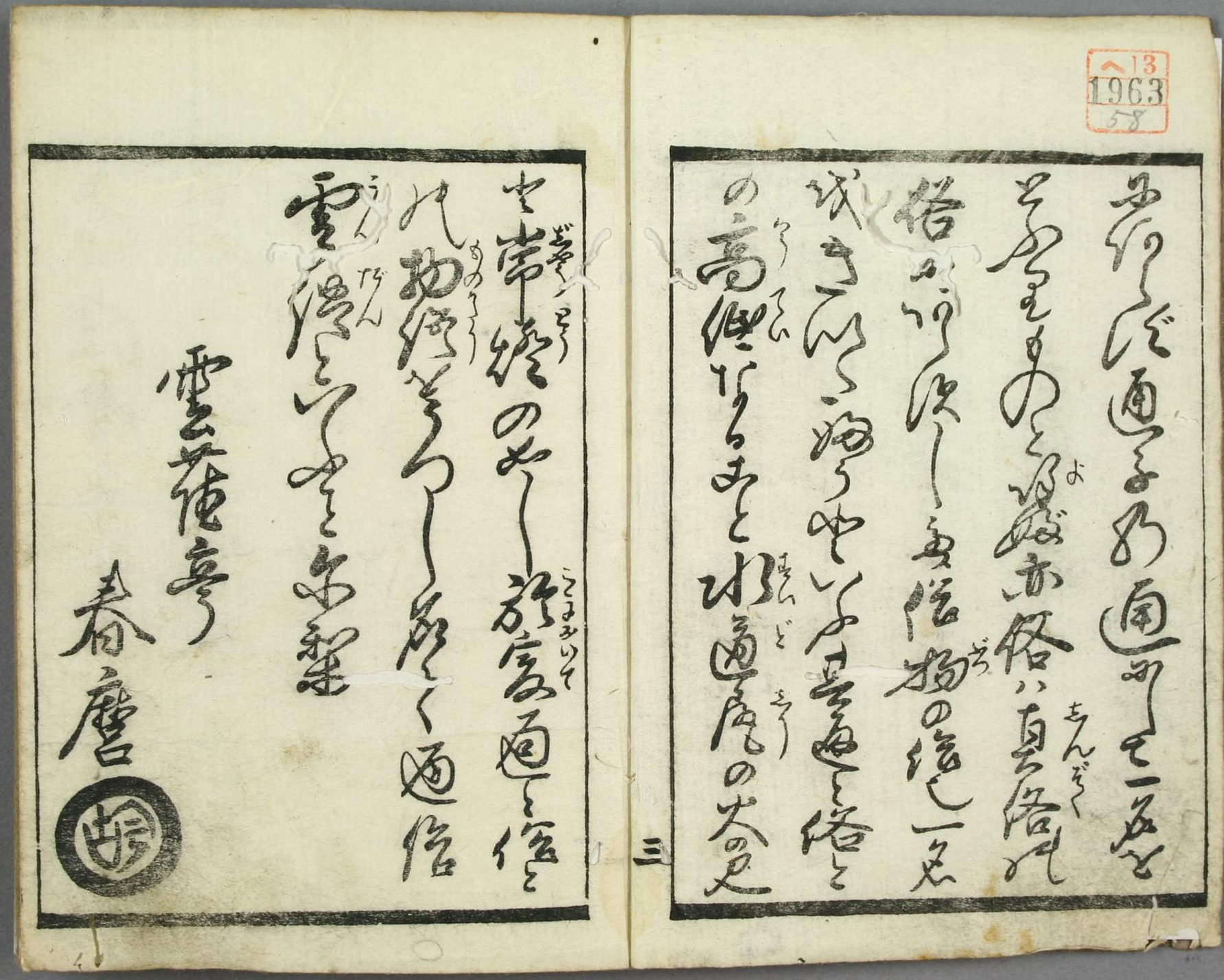
26

自序

蓋思ふに孫子の好色の
賦を敵陽城の
所ふるを情を
まよ文中此の神の通

大

へ13
1963
58





世常樂のもし於富通信
九物語をうつし給通信
雲濤亭

春麿

# 總目


○袈裟懸　一
○真　二
○桂布（けいふ）　三

根川

銀蝶

# 太志

豊丸画

## 長湯

吏女湯の高座天竺ゑ
ゐて五百の釜室八二通ゑ
ゐよ為一角仙人八嚴陀羅女ゑ
ゐ法を破ゑり
義人の驚ゑ
見ゑ
通ゑこれゑ迷

北角屋敷を構ふる多分有
りて伏せる城いとつぐき堅とて
その源とて流れぬまだ見ずすの
たる西洞の山へ[illegible]けり洞
岡を為せり[illegible]
切くくて西施が洞と書て一切の[illegible]
る蟹坂の洞を移す事無に



なりし例とき所決定おそるべき
北狭河なるべ
○宮ノ山の宿かしを新をべ
その中ホ蓬をかけ一ト切見る
中の町北茶や津田屋平兵衛
切り宅とて一人の天蓋幇間
来社ものそ大酒豪の雅客
の俳

客桂布

ものひ北八九とて世ひ
色ものして大のものこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]てきやせう　伯老　そう

松樓へいくまつ事でござりませう

[illegible]　うくそくかしやうの志の大きふ

[illegible]たてござる日へあれごろちへ

[illegible]る風ハ太意をいちもたたれてゐる

[illegible]ばいろはの日をまてさぜ我を

後と立てゐるぞろ〳〵コレ雲かく

ぞあぞちやくいろてはきてまて



[illegible]れろ　雲く　アイくきろちと

おゆめく　本ち　太意さんハどよゆう

[illegible]けて今日ハ月ハ[illegible]りはせん

　抽布　[illegible]よきのふ物申ハ

七日ころちくるもがぞ一ぶよ

こうあところぞはの日をまれてちせ

なんぞのよ　言合　それハうるひよ

我なのまれ[illegible]のさぞ後を立てゐる

[伯元] そのうへ松樓へもん
ぞうかひのはきたのかおいでなされる
ぶ[illegible]ぞうりまをあら [桂布] そふ
ぶかれぞうとうをめて[illegible]ぶかぬへ
トいふ業[illegible]と [蘭示] コレハく 桂
[illegible]ぞうりをぬいで [蘭示]
布[illegible]この百ハうふ[illegible]をかまき
なされまう[illegible]ぬはよそるハ松樓の
おせういでございまう [桂布] ゑい

十

百ハどふとはれがあるかぶ[illegible]の
ぶりふかそ百ハ重箱屋へあつべ
[蘭示] ハイく 何ふ[illegible]あへ
[illegible]もいふまをんだコレハく
ふもを百ふ[illegible]ふこそつかなられふ
[皆々] アイく [如爲] 蘭示さん一ッの
ふふ [蘭示] アイく これハありがふ
ぶぶりまを [桂布] [illegible]

海ぐかくぬう 女房 そのハ虎の門
はるくまいりまして ホンニもあるり
さるかりのでごぞりまして 桂布 モウ
いかかはそして富士を更をうるもの
ありてこれのうはいでよ文四郎も 女房
ハイくかうあるりまして 伯老 茶茶
はるぐこのもの ハどでぐ 茶茶 ラット
それのうと はよくも うるんちんのこれ云つの
カゴゴンくく



皆々 桂布 そうハ桂布くまいり
海ぐうる 女房 さるあるべはあさ
桂布 亭主どかたたくくあさ
女房 ハイくこれたまでかまます
まぬう 男 ハイくく 上州又 桂布
和ハさるまの乃のまのでごぞり
まのそうこれのりかいうあを 桂布
くうくしく サアうなこへつれどもと

おてゆく

真二

○百錦もてうすの絲繁せん
ちゝと宗貞はれもいさしも餘よ
風月のうつゞ世成のべ部ん
日東焼のきゝ法西とうるう新
れ家ものを部十れなりぶ示むを
びえゝの中ちうよきうちん



八松賀屋の仮宅と呼て二階ハ
そうくゝゝゝ地あそびなるゝ
ゝの中ハ一トきゝ見間ぶり
屋敷のやゝ屋宮八帝王のごく
来社八法俵のごく　深妙ゝ
后妃ゝ似ゝゝ　傾城　根川
ゞゝのゝゝ　一顧怒洛陽一降二周室一ゝのめぶいゝゝかく
なく思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ思ゝ

ハ一二ゝ眉ハ如新月一眼ハ如玉雪一腰ハ如柳糸一歯ハ如烏貝一

[illegible]のへうとうむいをきそ[illegible]る　冨士奏
ありさま天人のをうがをうとうさがをる
[illegible]のなんぢ[illegible]をそあ
をこうぢのちう[illegible]ちまいてふ
下略　桂布　ちまを　[illegible]の名ん
冨士奏　ハイ〳〵いつたぎまをせう　根川を
〳〵ヱ馬合さんぬやゃいつを辞ぢん
ちたやうでおぢ　言合　ナニヨリさしが
をかいるものう　亀川　それでも



いつをかきうてねをがるよ　木蔦
をふたをいがヨりうがこてれ
やけ日暮よごてふぎををそいを
して吉原に必事がなるを
きいく急よかけ刎て義を
でこうびまして縁を大きう
けがをいく[illegible]　伯老　ヨを
ちやアなのぢをんよ毋屋よいう

けガ（怪）ハ少（すこし）モナシ　根川

毛川さん　アノ

行ラサキヤ（ゆくさきや）　根川

毛川さん　アノ

竹の（竹の）　根川

毛川さん　アノ



ちなミニ　毛川

ハ何の用ニ　毛川

人ガきたカラ　毛川

ちなミニ　文男

アイヽ　菓子

おいでなさいまセ

ちと用ノ

おいでなんセヨ　桂布

菓子ハ　桂布

ちなミニ　文男

桂布さん方ゴハ古人でゴザリマス
たゞかの千葉めゞ無庫
風くまいり海して出てゐり
ますまつ大きふおそくなる
海れ　末高　イヤこれ出文年
でゝぶおそひ乃　五十六支　ちゝくし
三度よおそんぐらのとをく
来ませぬぞ　文宝高　その後ハこな



自まつひ　なまり入まれ
　　　

花八が收蛮天へ料理茶や
をおしゆたが收そいつがおか
ごぶへまたたへおのを
の客人でもおきぶハおとろう
とよりけぶそそでごぶりまも
それでも望理おきぶを書客
人がなるとそのうきまの間
をりさそでごぶりまの次



そこでやをんそらんかなる
いくそふでごぶりまも 俊光
そのおつぶもる蛮天町へ
ふやとこいかんぶが出そふ
だがこしもおいきぶ 菜糸
を掛布屋うへ命引ぶ
花八ぶ布へ明ハおぶり
まのせぬう 掛布 そそいハ

おりうふかう海ぐけ
ふいとふく　トかくふ　川波　きたり
モシ〳〵　桂布さん〳〵海子さんぐう
大声乃客人で太志さんをやう
ぐ来いしょ　桂布　ム太志ぐ
きたう　本書　太志さんぐおもをそ
てう後を立て来ぬう
川波　どうぐうれいせん



トかくてゆくかうこ雲かくハたを
てきかり二ぐ雲かくかぐうれ　雲図
ソうおもの　ふ後を立ちう
むそよ　おもかきい　きなる
太志　ちうせ　ちうくきひきかう　いるれ
ゲ桂布りよ　ぐいるすぐ後
うう　トきゆ　入書名　桂布　コレハく太志そる
ハ弱中ぐう　ちうちの　ぐう
はくいうもの　海かんかんそ

[illegible]

皆々 コレハ [illegible]

[illegible] 美女 [illegible]

[illegible]

男 ライ [illegible]

[illegible] 太志 コレ 桂布 [illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible] 桂布 何

[illegible] 太志

[illegible]

[illegible]

あるくせゑ　かうでなくなるあの
ア　なるまもせよ　なるあうな
らぬうこぬが　ほらをこア
のまも　色のくるい　あせを
合を命に　ものをとげこれ
総せいふ　ほらたア色ものだの
むかりものぐぬのせ　ばかあの
人ぐぬ　ぎやくあうめへし



ぎりくまりやア　河東都
のあをを　うんぐかうせ色
ぐまりもの　色者　はあ　氣だ　ぬかが
ぬの東　ぬし　ぬ　どこから　ぬ
どまくあを　ぬをぬ　都が　ハ
ぬをぬぐを　ぬぐまうぐを
であをまもの　ぬをいかぬを
つくいるカ　コノを　者を

なんぎふかぎやつかせ生れる
ゆえ大門をとりこわしたる
うらいあるまいみのひのあ染乃
あげとこのうえとりもち おせ
なのさらアあげまくしたい
ゆえ門げたものとき
いあるなやあるうらい絵へ
の 桂布 ゆりやアなんぎとりの



ら絵へかゆをとりあるな
ゆえいうらゆるいゆえあや
ゆるあるこ尾(そう)ん人だのゆえ
だのゆえおりやアあんまり
つよすぎるやく 太志 の絵ま
の揚(やう)弓(きう)を初めやアあくし
ぬよるるそ(そぎ)ゆえ生ぬん
あるとゆのてゆえこと

[illegible]

伯光 なんぢゃな

[illegible]

[illegible]

太志 やこのまへいまは

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

京東八所御の方御
田の越年貴國万春文京
向河邊柳橋中うしの横
堀申のたに角品川を
うんなるべくいなべくに
くらべきるのとかゆりたと
まるいまあまあ京
ままるべむかでおかを



きちら稲へ乃命地きち
よおかがを命をきち稲へ
のこうちのきちうち稲
角きへおきくはきに
ときち稲へきの長江戸
京御しいくぶん稲へ見
見ちとおまの花をうに
ち寄に志稲尾ちま

になるらく

馬合　コレ桂布

さんかあく　とまりく　たなら

らかちく　たるまてば　あ

ふあく　しまつ　ぶつ　めく

いるまい　ぶく　太志さんも

ちゑさん　ぶまの　ちあ

ぶ人だの　ぶ人だの　ゆく

ぶ戸ぬや　ぶやア　あるめし



ちうなるべたるあゆハ

ぶくまなト　ちがたきけるる　太志　なん

ぶふの　ゆぶく　ゆく　ゆく　大

うぬぶ　ぶく　ちを　ちゑア　ぶ色

ゆり　ぶ乃ゆ　ぶん　ぶく　ゆく　ぶく

ら　ぶ　桂布　なん　ぶ　こ　月ハ

いちく　ちく　あ　ちく　ゆア　ぶ　あ

ぶ色の　ちく　ぶく　ぶる　ぶく　ぶと

太志

ナンダトロしく立あがりて行
かれぬ　かれぬばうなく　ぬぎ　ぬぎ　井ハ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　

[illegible]

毛川 モツ

[illegible]

皆々 桂布

[illegible]

桂布

[illegible]

馬合



[illegible]

根川 アイ

[illegible]

皆々 ハイ

桂布 ハイ

[illegible]

根川

[illegible]

桂布

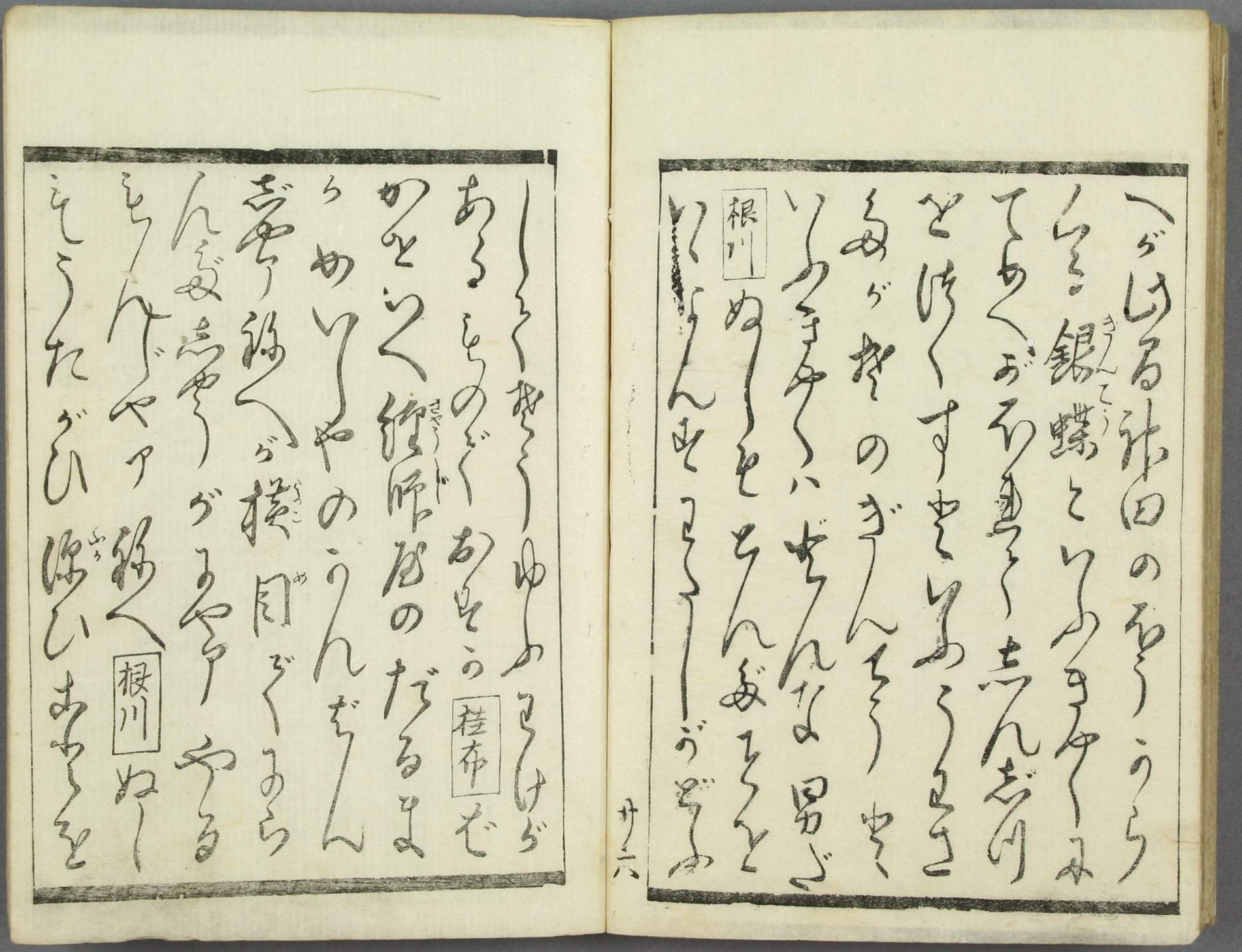
[illegible]

根川

[illegible]

桂布

[illegible]



根川



桂布

根川

[illegible]

[illegible] 桂布

[illegible]

根川 [illegible]

[illegible]

作者曰 コイツハ [illegible]

其三



○[illegible]の [illegible]

[illegible]

[illegible]

根川が [illegible] 紙燭

[illegible]

コウあいしんの [illegible]

ハあの [illegible]

アイサ [illegible] きこえ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぎーきく いっくおらんな

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の五ゝ三ゝ三ゝ三

うんぞ者しとてめく
乃うかつまがるうつと
やうもちくこのへりうさと
ちゑあがらあんぜうしいる者へ
ものふさゆゆ海えがき
たからきまと作ぜ二重
ありうきしやぬし乃
ちゑ作くる舟をかし



いしあうらもちきと
ちゑ作ぜて作ぜう
きねたらちとりちごくや
りいしとちどもる法
のあやだうらもちゑハな
たぐうりもひくいうら
うきんが者の舟をうんで
ちとにかにちゑうる

[illegible]
てらはるもなてあくがいん
ふまよりの事ぞまこぐもと
とおいくハぐまちもの
らあや源ぐくくいし
たちらまてしるぐつを
ふまこぐきりまども
のきんの氣とやまを



[illegible]
おまつのハぐハのまを
んをいらかきんぐ
りまをいくうん
あかれぐの三りいる雅四
うらるる銀きんをいしか
家りてあへぐるまを見
ぬ死のまいりあゆだを

いつ年をきしたる事ゆへ
たのしき事あるべき所
あるべきいとゞ道の中まし
て年ぶりものの事なる事
ゆへ此事をあ
るべき事とおもつくい
たらばなんの事だけ外
事ハとゝもあるべきゝ



のゆゑの俗家の通り新家
で新家なるゆへいと処
うくしくもかくさの稲
一年ぶ新ぶんそ
新家ともあるべ
つゝら明たん家なる事
かゝ
なるべくしく成こう理

あんぐあさんなをいりく
をんをんがまのぐあるう
だはうどく毛川さんを
たのんぐいきるしれをを
銀蝶
ゆくをしをあかさんもを
くにたうかをんさぐうを
しうたはうこうをを



あんば雨ぐあるうがゆり
ぐうをうぐうもの弦尾と
ばはんぐををををを
らくくあて事をはをを
繰ぐうをいくあんば
をらし風を動ぬを
うを毛あんのを毛を恩
をを自へて川戦ぐり

たぐ　ゆめのまもるも　ものあり
ものの　なくこうつくしき　ものを
ら　ものの　さくら　ゆめ　ふる　春
なる　ものを　ぞ　ものあり　あく
ものを　ものを　ものあり　あく

根川

ものを　ものを　ものを　ものを
いて　ぞ　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを
あり　ものを　ものを　ものを　ものを



ものを　ものを　ものを　ものを　ものを

銀蝶

ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを

根川

ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを
ものを　ものを　ものを　ものを　ものを

やうさんにあるをかまをあるもうんなりぬ
はこうもやまなるべばなん
ゆうもあつせんさうりな
ぐらさうしゑ動物の数
の日ようぬれ屋なる
あることハあるものやかも
ひはあるうるしぐむ



紙のうちうしてお
きんなんゆ
むかしぎ者の大一座をうるべく都美文
が俳そう文海命が三味せんとうるべく
タカまくて
ゆもニゆるとニゆるもせてのん
に初やうゆ男おとこやく多
のしむ中のうのこどり
銀蝶 何ぶやもぜんぜの弱
はくぶくあきらん

根川

銀蝶

銀蝶

根川

銀蝶



八幡の社家

根川

銀蝶

銀蝶

根川



根川

銀蝶

[illegible]

根川

[illegible]

根川

[illegible]



[illegible]

作者曰

[illegible]